



ひがしかた

東方みゆき 市政報告

HIGASHIKATA
KENBUNROKU
東方見聞録 vol.04

長野市議会WEBサイト
https://www.city.nagano.nagano.jp/site/gikai/
議会中継録画
http://www.nagano-city.stream.jfit.co.jp/

討議資料



ごあいさつ こんにちは、長野市議会議員の東方みゆきです。みなさまの声を参考に、より見やすく、わかりやすくなるよう紙面をリニューアルいたしました!

篠ノ井のまちなかで60年以上の時を経て動き出した道路整備 — 特集 —

議会質問・現地調査から

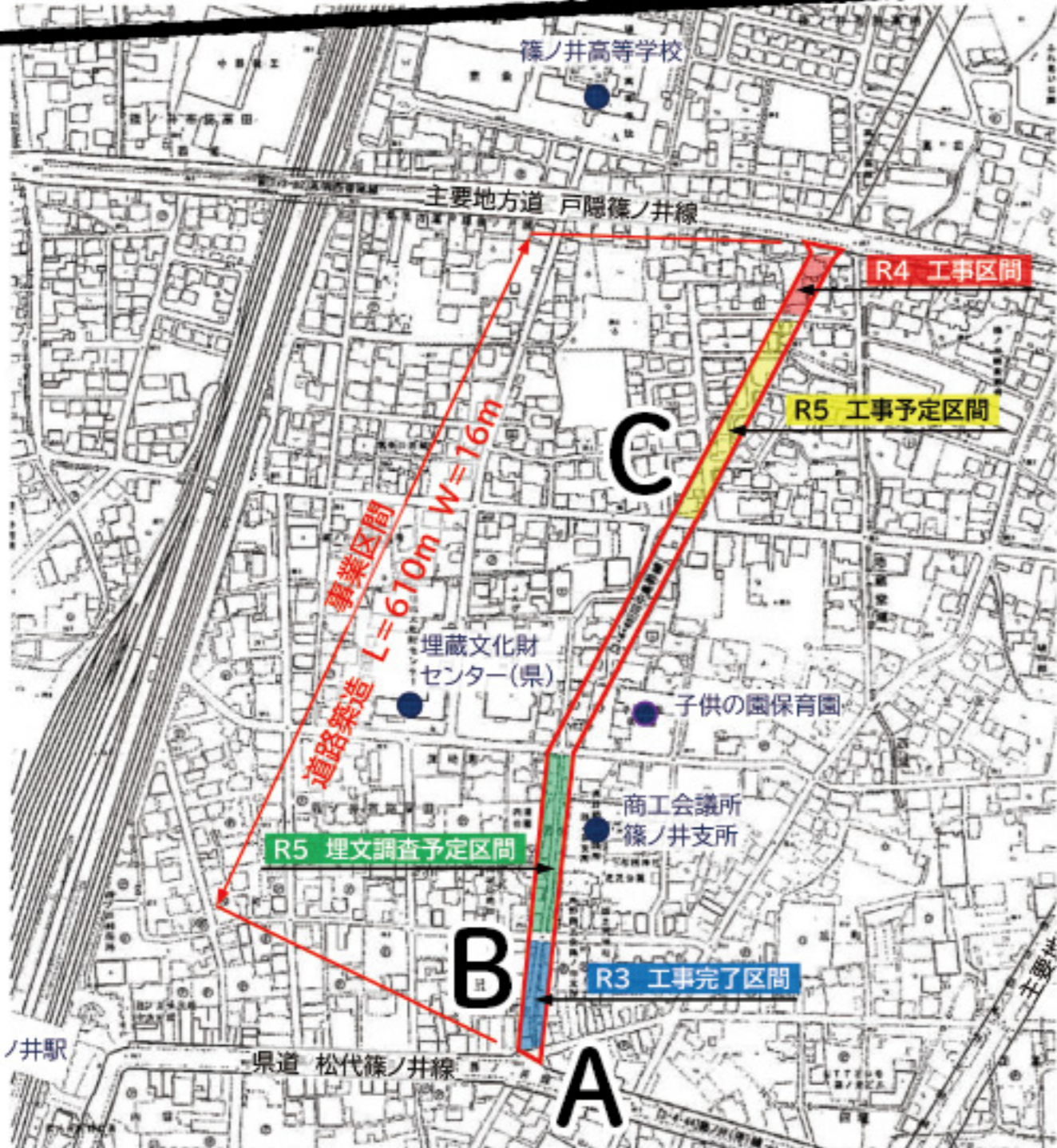


都市計画道路

川中島幹線の整備

概要

【当初都市計画決定】1953(昭和28)年
【道路幅員】16m(2車線+両側歩道)
【事業期間】平成27年度~令和8年度
【総事業費】約32億円
*令和4年10月現在



Why? なぜ今?

【答弁:都市計画部長】

【経緯】平成16年に地元で建設促進期成同盟会が設立。地権者、関係者の御理解と御協力で用地取得等を進める。平成27年に事業化。令和3年に工事着手。
【目的】通学路を含めた安全な歩行空間、災害時等の避難時や輸送路の確保、良好な市街地の形成。

Wow! 発掘調査

【答弁:教育次長】

布施城址の近接地で、範囲未確定の「篠ノ井南条遺跡」に含まれる可能性があり、発掘調査を実施。発掘調査説明会や体験会、郷土学習の利用に積極的に取り組む。



B:新たに命名された「篠ノ井佃(つくだ)遺跡」*令和3年9月撮影



C:現地説明会が行われた「篠ノ井南条遺跡」*令和4年10月撮影

平安時代の遺跡発掘!

これまでに竪穴住居、鍛冶関連遺構、土器などを発掘。約1100年前、平安時代の生活、産業の痕跡とされています。
*遺跡は調査、記録等の後に埋め戻し、道路の下に眠ります。

How? 安全対策

【答弁:都市計画部長】

工事中から全面開通まで、周辺の学校関係者、交通管理者、道路管理者と調整して安全対策を行う。●歩行者のバリアフリー ●歩道に1メートル幅の植栽帯 ●視覚障害者用の点字ブロック ●交差点部分は段差解消ブロック、透水性アスファルト舗装を予定



◀ Aの交差点は、通明小学校の約3割の児童が通る。(R3年8月30日朝計測で214人通過)万全の安全対策が求められる。

加藤前長野市長は、退任前の議会で「川中島幹線は、長野市南部の重要な拠点である篠ノ井のまちづくりに貢献する」と答弁。地域の方からは、見慣れた景色がなくなることへの寂しさ、交差点の安全性への不安なども伺っています。地域の生活環境の向上につながるように、まだ検討中の事項、道路と周辺の工事進捗を引き続き追っていきます。





私がめざす長野の“6つの柱”に沿って報告します。

1 命を大切にする長野

●台風災害時の課題から学び、避難所マニュアルを改訂

長野市では、東日本台風の経験で見えてきた課題をふまえて、避難所の開設・運営マニュアルを作成しました。マニュアルは市のサイト上で閲覧可能→
<https://www.city.nagano.nagano.jp/site/sougoukeikaku/704896.html>
今後、訓練や改善を図っていきます。ご意見もお寄せください。

3 地域経済が回る長野

●コロナ禍での中小事業者への支援

商店などの声から、国や県の支援が届きにくい分野への支援を要望し、実現しました！
○飲食・観光関連事業者支援 令和3年8月補正予算3億2400万円(申請期間令和3年9月～10月)
○第6波対応事業者緊急支援金 令和4年2月補正予算7億3230万円(申請期間令和4年2月～5月)

4 誇りと郷土愛ふくらむ長野

●善光寺御開帳篠ノ井大獅子奉納に参列



●軽トラ市全国大会副実行委員長として運営

10月15日は日本各地の軽トラ市開催団体、自動車メーカーなどによるシンポジウム。翌16日は篠ノ井駅前での軽トラ市拡大版。「長野オリンピックの賑わいを思い出した」「篠ノ井の活気が嬉しかった」との感想をいただくほどにぎわいました!



106の出店でにぎわった軽トラ市全国大会



5 ユニバーサルデザイン、バリアフリー先進地の長野

●公共施設の使いやすさ調査



杖や車いすを使う父との外出で調査をしています。経済文教委員会では、市立博物館等の身障者駐車場の配置検証を要望しました。(令和4年6月定例会)
道の駅信州新町では、手入れされた車いすをお借りできます。

6 まちの持続可能性を高める

●茶臼山自然植物園で植樹

第72回長野県植樹祭が開かれ、信里小のみどりの少年団、市長、県議、市議等の方々と一緒にかえで等を植樹しました。



篠ノ井駅前に求めるものは?



コロナ禍でも篠ノ井駅前は出店ラッシュ

7年ぐらい前から、新しいお店や事業所の進出が続いています。長く使われなかった建物が改装され、業種構成も変わってきています。

30～50代ぐらいの若い経営者が、篠ノ井駅前を選んでチャレンジしてくださり、商店街の立場としてとても感謝しています。

若い人にも注目される篠ノ井の商店街に、ぜひ足を運んでみてください。

商業だけではない駅前に求められる役割

同時に、周辺の未利用地や古い建物が、戸建て住宅やアパートなどに替わっています。商業・公共施設・公共交通等の生活利便性、イベントなど人々の交流の場や、学校や職場以外の「第3の居場所」も期待されています。

住みやすく、愛着の持てる地域であり続けるため、さまざまな立場からご意見、ご協力をいただければ幸いです。

編集後記

全国軽トラ市in長野しののけの開催にあたり、ご協力、ご出店、ご来場いただいた皆様にお礼申し上げます。予想以上のにぎわいでした。地域経済はもちろん、人々が元気になるきっかけとなれば幸いです。

プロフィール

東方みゆきプロフィール

1969(昭和44)年3月5日
長野市篠ノ井生まれ・会区に在住

円福幼稚園/長野市立通明小学校/長野市立篠ノ井東中学校/長野県長野南高等学校/静岡県立大学国際関係学部卒業/静岡県立大学大学院国際関係学専攻科修了(国際関係学修士)

長野市議会議員(1期目)
総務委員会委員、観光戦略調査研究特別委員会
篠ノ井商店会連合会副会長
学校法人篠ノ井学園長野俊英高校評議員
長野市社会福祉審議会/障害者福祉専門分科会委員

